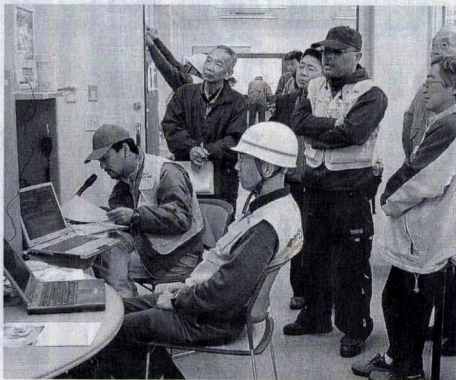


支援拠点の開設訓練

富士市ボランティア連



アマチュア無線のクラブ局を利用し、情報収集にあたる参加者＝富士市のフィランセ

災害対応迅速に

富士市災害ボラン

ティア連絡会（渡辺雅子会長）は一日、同市本市場のフィランセなどで災害ボランティア支援本部開設訓練を実施した。会員約七十人とともに一般市民も参加し、災害時の迅速なボランティア活動に向けて連携の強化を図った。

「午前七時に警戒宣言が発令され、八時半にマグニチュード（M）8、震度6弱以上の東海地震が発生した」との想定。フィランセ内に支援本部を、同市富士岡南の東部市民プラザと同市久沢の鷹岡市民プラザに現地支援支部を設置した。

アマチュア無線のクラブ局「災害ボランティア HAMクラブ」などを利用して情報収集や被害状況の把握にあたり、要請に応じて医薬品をはじめと

アマ無線でも 情報収集も

した緊急物資を運搬した。一般の参加者がボランティア役を担って災害ボランティアの受け入れ訓練にも取り組み、簡単な救急法の講習や災害関係資料の展示も行った。同連絡会はフィランセが開館した昨年度から、本格的な支援本部開設訓練を開いている。渡辺会長は「有事の際にさまざまな場面に対応できるように、訓練を重ねて態勢を整えたい」と話していた。